（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2050ゼロカーボン普及啓発事業
事業主体 （連絡先）	南信州環境メッセ2025実行委員会
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,271,300　円　（うち支援金：　3,874,000　円）

事　業　内　容

ゼロカーボン・SDGs社会の実現に向けて、再生エネルギーの普及や循環型社会構築の機運を高めると共に、民間企業や活動団体、住民や行政など多様な主体が協働して地球温暖化対策に取り組む環境先進地域づくりを目指したもの。
日時　令和7年10月31日～11月2日のうち1,2日の2日間
会場　エス・バード（飯田市座光寺）　来場者1,657名
内　容　「水素」に係るシンポジウム、ブース出展、各種体験講座、アトラクション



【環境メッセ2025　室内の様子】

事　業　効　果

①地域内における水素の利活用に係る企業の取り組みのきっかけの一つとなり得るとともに、製造業を中心に、水素を実際にどう使っていくか考える機会とするなど産業界の水素に対する気運の向上に資することが出来た。

②会場の屋内外に様々なブースが出展され、出展者、来場者間の情報交換の場となった。また、シンポジウムや子ども向けの体験講座など、幅広い世代を対象に環境の関心を高める機会にでき、昨年を超える来場者の皆様に参加いただいた。（昨年は来場者数1,429名）

③NPOや環境活動団体以外に、管内の飯田高校の生徒が断熱ワークショップの発表で活躍した。

【目標・ねらい】

①ゼロカーボン・SDGs社会の実現に向けた協働取組と普及啓発
②環境をテーマとした地域経済と連携した見本市の開催や企業と小中学生を結ぶ場の整備
③出展募集により多様な主体が集う場としての定着

※自己評価【　B　】

【理由】
環境産業見本市との連動で3日間の開催として環境メッセに取り組み、一定の効果は見られた。また、出展者の中には圏域外の事業者も若干増えてきている。

今後の取り組み

本メッセと連携し開催していた環境産業見本市との共催を見直し、新たに「木工作ワークショップ」（南信州地域振興局林務課主催）を本メッセの中で同時開催する方向で取り組んでいく。
出展者も来場者の増加を目指し、リニア・三遠南信時代に県外からも訪れる機会のひとつとなるよう内容を充実させ、ゼロカーボン活動を推進して「環境先進地・南信州」を目指していく。